

▶①②市危機管理防災課の職員から簡易トイレの組み立て方などを学ぶ自治会メンバー③防災倉庫の中身をチェックする自治会長ら



年々激しさを増す気象災害に対処すべく、赤松自主防災本部とまち協あんしん部会は全11自治会に防災組織を作るなど校区全体で体制を強化、よりリアルな訓練を頻繁に繰り返して着々と備えを充実しています。6月4日には各自治会から3

仮設トイレ学習、防災倉庫点検など
災害に備えリアル訓練
人々が赤松小学校に集合、赤、青、緑など役割ごとに色を変えたベストを着て、市危機管理防災課の職員から受付のやり方や仮設トイレエアーベッドの組み立て方などを学びました。5月27日には赤松公民館に置く防災倉庫の中をチェックク。いったんすべてを外に出し、記録と照合。賞味期限が近づいた食品などを処分しました。

▼新春恒例の5社参りの後、地域の歴史を学ぶ校区のメンバー



コロナ禍で中止が続いていた「5社参り」が1月8日、3年ぶりに実施されました。感染が少し落ち着き始めたことからマスクを着け、用心しながら開催しました。幸い好天にも恵まれ、参加者たちはみんな笑顔。佐賀神社など5社をはじめ校区の名所旧跡を巡りました。ただ公民館に帰ったことからゲームやおしゃべりからは今年まではお預け。来年こそ楽しみです。

▼春と秋、年2回のフラワーポット植え替えに汗を流す赤松校区の皆さん(サガテレビ前の本丸通り沿い歩道)



75鉢植え替え
本丸通り歩道

赤松まちづくり協議会メンバーと城南中の生徒たち35人が6月10日、本丸通り歩道の75鉢のプランターにマリーゴールドとハナスベリヒユ(ポーチミカ)を植えました。この1週間前、枯れたパンジーなどを抜き、肥料を施して準備。南米原産のハナスベリヒユは暑い夏が最も元気で赤やピンクのあでやかな花。通りが明るくなりそうです。春と秋の植え替えには最近城南中のボランティアが定着。かつては老人会の作業で大変だっただけに感謝されています。

65歳以上200人の実態調査
赤松校区内65歳以上の2032人の実態調査が5月7月、16人の民生員によって実施されました。世帯状況、健康状態、緊急連絡先など14項目を対面や電話で調査。結果が市や市社協、おたしや本舗などと共有され、災害時の援助活動など様々な対策に生かされます。対象者を抱える民生委員もおり大変ですが、おかげで地域の安心につながっています。

▼下記は校区の民生児童委員です。高齢者や子どものこと。お気軽にご相談ください。

会長 江口佳子(主任児童委員) / 副会長 濱野京子(南堀) / 会計 後藤美代子(東城内)
江口尚子、坂井洋子(北水) / 倉守みどり、本庄喜代子(南水) / 小副川恵美子(東水) / 田中みどり、
杠美保子(中の館) / 深川謙二(新道) / 市丸康子(東城内) / 西村律子(西城内) / 池田良恵、井上知子(鬼丸) / 福田まろみ(北堀) / 荒金健次(与賀町) / 儀間恒二(主任児童委員)



赤松いいすけ
～思いやる 心でつなぐ ふれあいのまち 赤松～

第17号
赤松校区社会福祉協議会
赤松まちづくり協議会発行

東城内自治会や校区自治会長会、まち協会長歴任 蘭会長27年の地域活動に幕

赤松まち協新体制へ 新会長福田さん、事務局長秦さん

赤松まちづくり協議会は5月14日、赤松公民館で本年度総会を開き、蘭晴男会長辞任に伴う人事案や決算・予算、事業報告・計画などを執行部が提案、賛成多数ですべて可決しました。協議会設立以来6年間、会長職を担ってきた蘭氏に代わり、新会長には福田伸裕事務局長。その後は秦慎一郎親子ふれあい部長。さらにその後は、築地利明校区子ども会育成会副会長が就任、新体制がスタートしました。蘭前会長はNTTを退職後、東城内自治会の会計を7年間勤め、その後、20年間にわたり自治会長に。この間校区自治会



長会の会長を7年、そしてまち協会長を勤め上げられました。年齢も90歳になり「さすがに体調が落ちました」と今回、27年に及ぶ地域活動に幕を下ろされました。

この日の総会終了後は公民館前でバーベキュー会を開催。まち協役員や参加住民みんなで親睦を図りました。この3年間、コロナで会議もなかなか開けなかったため、新体制スタートを祝い、あらためて協議会の

総会終了後はバーベキューで親睦

会長 福田伸裕 / 副会長 安西幸彦・藤瀬佐多子 / 会計 一ノ瀬成元 / 事務局長 秦慎一郎
赤松まちづくり協議会 役員体制 役員(上)と各専門部会長(下) ☎ 23-6002
親子ふれあい 築地利明/げんき 須藤義仁/あんしん 荒金健次/まなび 永原光彦/つながり 秦慎一郎

男性高齢者を引っ張り出そう！



▲公民館ロビーで6月から始まった「ニモク会」。下は光円寺のカラオケハウスで、早速自慢ののどを披露する参加者たち

赤松公民館に相次ぎ開設

料理や健康講話 「自画自賛会」も

女性と違ってなかなか外に出たがらない男性高齢者を、なんとか外に引っ張り出そうと、赤松で2つのイベントが相次いでスタートします。

一つは校区社会福祉協議会が主催する「ニモク会」。毎月第2木曜日に開催するこの行事を忘れず参加してもらうため、この名前に、赤松公民館ロビーで、すでに6月から始まりました。



社協視察 唐津「子ども秘密基地」訪問

▼テーブルには毎日おいしい料理がいっぱい。今日もみんなで「いただきます！」



た。そこは赤松の「えがお食堂」とは全く異なり、釣り船業を営む傍ら林一博さんが2人の女性ボランティアさんと3人で年中無休で開いている子どもの居場所。

児童たちが放課後に来て宿題をしたりゲームに興じたり、夕方まで自由に過ごしています。道路端に入口があり、表は全面ガラス張り。ワイファイ環境を整え、子どもたちが過ごしている様子は動画カメラで捕らえ、家族にも繋がっていました。虐待など様々な問題が子どもたちに起きる中「駆け込み寺」になれば、と林さん。週2回の高齢者サロンも実施。費用はすべてネットからの少額の寄付で賄っている、ということでした。

社協常任理事 会長 藤瀬佐多子 / 副会長 福田伸裕、安西幸彦、江口佳子 / 会計 八田博一 / 瀬成元 / 栗屋茂 / 須藤義仁 / 永原光彦 / 荒金健次 / 秦慎一郎 / 築地敏明 / 西村律子

▼雨の中でも餅をつく子は元気いっぱい (上下とも)



雨が降っても餅が来ても餅つき決行！ 赤松の皆はお餅が大好き。雨が降っても餅が来ても餅つき決行！ 赤松の皆はお餅が大好き。雨が降っても餅が来ても餅つき決行！

▼市環境保健推進協議会から団体功労賞を受けた親子ふれあい部会のメンバーら。下段左から3人目が秦部会長



親子ふれあい部会に団体功労賞

市環境保健推進大会で推進協

まち協・親子ふれあい部会が本年度の市環境保健推進協議会・団体功労賞に選ばれ、2月14日に佐賀市文化会館で開かれた環境協大会で表彰されました。

この協議会は市内の自治会代表者らが環境向上と市民の健康増進をめざす組織で、毎年この時期に大会を開き、活動に貢献した組織や個人を表彰しています。

親子ふれあい部会の受賞は花植え活動の評価。サガテレビ前県道のフラワーボットの花植えを、年2回続ける活動が認められました。

同部会の秦慎一郎部会長は「今後も子どもたちの笑顔がより弾ける活動を続けたい」と意気込みを語りました。



▲写真上はブース前で意見交換する参加者たち。下は赤松の紹介をする福田事務局長(右)

▼赤松公民館集客室で開かれた福祉協力員研修会。下の写真は講師の時尾久美子・嘉瀬校区社会福祉協議会会長



本年度の班長さんらを対象に福祉協力員研修会が6月15日、赤松公民館であり30人が参加。ひとつ先を行く

まちづくり協議会など市内の53団体が一同に集り、互いの情報を交換し活動に役立てようという「地域づくり交流会」(市協働推進課)が1月28日、赤松のミズや田島などの企業をはじめ健康や防災関係のグループに開かれた。3年ぶりに開かれた地域交流会は、地域を少しだけでも前に進めたいまち協の熱意があふれていた。



▲たくさんのお菓子をお土産に。元気な子供たち

▼ハスの大敵アカミミガメの説明をする永原光彦さん。左のバケツは捕獲したカメやタウナギ



とタウナギが1匹ずつ。ほかには手長エビ8匹、ブルーギル5匹。指導に当たるまち協・まなび部会長の永原さんは「長雨の影響？」でも子どもたちにとっては興奮の2日間でした。

自治会長 会長 安西幸彦 (鬼丸) / 副会長 西村律子 (西城内) / 会計 八田博 (南堀) / 福井章司 (北水) 吉川隆 (南水) 長谷川義高 (東水) / 深川謙二 (新道) / 田中唯史 (中の館) / 中原健太 (東城内) / 福田伸裕 (北堀) / 荒金健次 (与賀町)

えがお食堂、おにぎり

子ども食堂「えがお」はコロナがあろうとなかろうと、元気に開催し続け、6月25日は「具だくさんおにぎり」。4年ぶりに公民館で、み

虐待やネグレクトなど悲しいニュースが相次いでいますが、赤松の子どもたちには決してそんなことが起きないように、と願いを込め、これからは頑張ります。かき氷マシンも購入しましたよ！



▲えがお食堂リーダーの一人、加固さん(右)の元気も活動の原動力